

あまでうすです

《月日は百代の過客にして、行きかう年もまた旅人なり》元禄二年（一六八九）三月、「草の戸も 住替る代ぞ 雛の家」の句を残し、江戸は隅田川の畔にあつた「芭蕉庵」を

今の定時法（季節や場所に関わらず、昼も夜も一時間の長さと同じで変わらない）の時代とは違い、不定時法（日の出から日没までの時間、また日没からの日の出までの時間をそれぞれ十二時間とする法）の時代に時計を持つて旅をしていたのだろうか。と以前から

「辰ノ上尅」といつた記載があり、どうやって時刻を知ったか。この時代既に、懐中時計はあつたと云う。ならば定時法で曾良は記したはずである。では、携帯用日時計を持ち歩いていたのであろうか。

めを受け、鐘撞人は免職、投獄五日間を申しつけられたが、金百文で許してもらつたと云う。江戸時代には既に時刻管理が徹底されていた様です。更に、嘉永六年浦賀に黒船来航《太平の眠りを覚ます上喜撰 たつたしはい

計が伝わったのは、天文二十年フランシスコ・ザビエルが大内義隆に献上したとある。また日本で最初の時計を作つた人は、尾張の鍛冶工・津田助左衛門だと云う。家康公へ朝鮮から献上された時計が故障した為、この時に見出されたのが津田助左衛門であると記されている。今でも時計には、しこたま興味深いものがある。常常、時計は使

風地蔵新聞

日帰りバスツアー

原 由里子

新聞の中に、旅行会社の旅行案内をよくみかけます。その日も何気に、旅行案内の広告を見ていました。その中に、京都貴船川床料理に行く日帰りツアーが目に入りました。

バスツアー中心で行っているの、心強いのもありました。私が選んだバスツアーは、日帰りにはお高い方だったので、「もつと安いのがあるはず」と言つて、同じ内容のもう少し安いプランのバスツアーを姉が見つけて来たので、そこに決めました。

は見事な秋晴れ（暑いくらい）になりました。集合場所は、JR岐阜駅の近くの観光バス乗降場に8時15分。出発が8時30分です。姉と大垣駅の2階にあるパン屋さんのまえに、7時27分の電車に乗るために、40分に待ち合わせをしました。

り、京都に向かいます。すぐにバスガイドさんの挨拶があり、このツアーの参加者だとわかる加者だと思われるように、手ではちぎれない赤いビニールのブレスを渡され、鞆の持ち手に付きました。

で川床料理をとり、水の様・貴船神社で自由散策が約1時間半あります。その後、鶴屋吉信という和菓子屋さん、京漬物大安で買物をして帰るといふものです。けど、お買い物先になり 京都の町中にある老舗の高級和菓子屋さんへ。建物は新しく、一階で販売をして、二階で和菓子とお茶で一服できるようなつています。ツアー客は絶対買うので、店員さんも元氣よく笑顔で試食もばんばん出していました。

第133号 発行 編集 風地蔵 白石 美帆 〒503-0922 岐阜県大垣市 馬場町85 ヤフーブログ 毎日更新中 炎の女みほ日記 http://blogs.yahoo.co.jp/rion5230

バスツアー中心で行っているの、心強いのもありました。私が選んだバスツアーは、日帰りにはお高い方だったので、「もつと安いのがあるはず」と言つて、同じ内容のもう少し安いプランのバスツアーを姉が見つけて来たので、そこに決めました。

は見事な秋晴れ（暑いくらい）になりました。集合場所は、JR岐阜駅の近くの観光バス乗降場に8時15分。出発が8時30分です。姉と大垣駅の2階にあるパン屋さんのまえに、7時27分の電車に乗るために、40分に待ち合わせをしました。

り、京都に向かいます。すぐにバスガイドさんの挨拶があり、このツアーの参加者だとわかる加者だと思われるように、手ではちぎれない赤いビニールのブレスを渡され、鞆の持ち手に付きました。

で川床料理をとり、水の様・貴船神社で自由散策が約1時間半あります。その後、鶴屋吉信という和菓子屋さん、京漬物大安で買物をして帰るといふものです。けど、お買い物先になり 京都の町中にある老舗の高級和菓子屋さんへ。建物は新しく、一階で販売をして、二階で和菓子とお茶で一服できるようなつています。ツアー客は絶対買うので、店員さんも元氣よく笑顔で試食もばんばん出していました。

川風

しらいしみほ

本日 田中正さんの25回忌法要にみほさん、りおさん、そしてご主人と、お参りして頂きました。感謝しております。お経が終わり、こちらに向きなおされて、住職がしずかに話しはじめられた。

田中正さんは大牟田ですが、警察官、消防士を退職されたのち、奥さまのご実家であるこの地に縁あつて家を建てられました。

人懐こい性格から、はじめであつたとは思えないほどで、「墓ばたてるばい、納骨堂ば建てるばい」とこの本堂建て替えと、納骨堂の増設に最後まで中心となつて、人々のまとめ役に尽力をつくし、この本堂が建ちました。

みほさんはおかあさん、りおさんとの縁が薄くはございましたがみほ！みほ！みほさん！とお父さんお母さん替わりのおじいちゃんおばあちゃんに愛情を持って育てられ、小学校、中学校と、日曜日

の朝には駆けつけてこちらでの日曜学校をたのしみにお経を読んだりしておりました。おじいちゃんおばあちゃんもなくなり、正さんの東京の娘さんとの連絡も絶え絶えになり、これで田中家もおしまいかと思つていた所へ

ちようどみほさんが田中家はわたしが継ぎます！墓は私が守ります！と言つてくれて力強い言葉にそれは安心いたしました。おじいちゃん、おばあちゃん姿を見て育つたみほさんが、

今日はどうして、りおさん、だんなさんと「先生！私達も一緒にお経を読みたいです！」とわたくしをうしろで、お経を讀まれました。みほさんも幼き頃からの思い出を思い出しながら25回忌を迎えられていたのだらうとわたくしは胸がいっぱい、感無量でございます。みほさんが岐阜の土地でひとり、りおさんを懸念に育てて来られた事は、その文章からひしひしと伝わってまいりました。心細かつたでしょう、想像できない苦勞をしてきたのだなと思いを馳せておりました。おじいちゃん「親鸞」を全巻持つて行き、辛さ、厳しさを本に救いを求め、読みあさった時か

らどれだけの本を讀まれたか、毎月の新聞や、文章からみてとれます。全国学童保育の月刊誌にも、たなかみほの投稿があり驚きとともに、子育てに奮闘する姿をまぶしく讀ませてもらいました。今社会人になられたりおんさんにとこの母という存在がとてつもなく大きな影響を示していると感じ取る次第です。

間、四六時中子どもに寄り添い、すのでそうはいつてはおられない。悲しい出来事です。が、特攻隊の若者が、知蘭で飛び立つ最後の言葉は、天皇陛下万歳ではなく、おかあさん！だったと、いいま

いなかつたが、さいごまで、振り仮名を眼で追い、しっかりと声にして読んだのには驚きでした。子育てに迷い、会社の運営に頭をひねり、家族、会社、様々な人間関係のなかでたくさんの人に助けられ生かさせてもらつてい

らどれだけの本を讀まれたか、毎月の新聞や、文章からみてとれます。全国学童保育の月刊誌にも、たなかみほの投稿があり驚きとともに、子育てに奮闘する姿をまぶしく讀ませてもらいました。今社会人になられたりおんさんにとこの母という存在がとてつもなく大きな影響を示していると感じ取る次第です。

時には、少し道が外れてしまったとしても、この母の姿にして、そう大きく踏み外す事はないことと思ひます。先日、全国学童保育連絡会が熊本であり、人吉の方の講演会が御座いました。

父は、時の途中で道を示せばいいが、母は、24時

19才、りおんが声にして、お経を讀むとは思つて

また旦那さんもこ

うして一家の柱となり、ふたりを支え、これからも家族3人でこうしてお参りに来られます事を願つてやみません。

今自分達がいるのも、おじいちゃんおばあちゃんご先祖様あつてこそです。今日は本当に感動いたしました。

ご先祖様は大事にしなきゃと改めて思う次第です。

ちよつと立ち話

これらもらっていつ... ね、(カフエのお客さま) これおもしろいよ (お客さま) 小学校の時、足が遅いのでまずリレ... 事は皆無に選ばれ... 運動会の華はやつ... 楽が必ず流れます... その曲を聴くだけ... 気が早くなりました。

作品への想い

大橋 美紀

風地蔵では、毎年恒例となつています、10月に展示をして、今年も10月4日から店内に展示させて頂きました。この作品は、毎年夏に福岡県の広川町で行われて「かすりたまご展」というコンクールがありま... ず。作品の条件として、一部でもいいので久留米絨を使用する... 留米絨は、広川町、旧久留米藩地域で製... 造されている絨で、綿織り物で、藍染めが主體です。久留米絨の魅力として、綿素材です。夏は涼しく、冬は暖かい、着れば着るほど肌に

バベキューに近い... 息子さんご結婚おめでと。いろいろ大変です。だと思いませんか... しみと変換して... なく、何でも楽し... 奥田さんが前にお店に用事があった... 来た時、野球のユ... ニフオームでビッ... クリした事があり... ました。確か平日... だった。お... 仕事?」と思った... ことがありました... (原)

馴染み肌触り風合い... が良く、繊維が丈夫な生地である事、洗濯にも強いという事です。話を戻します。そのコンクールに九州を中心、全国各地の作家の作品が、作品を出されま... ず。金・銀・銅賞、新聞社などの賞が選ばれるのです。今、社長が福岡に住んでいらつしやるので、社長が自ら足を運ば... 社、作品を観て、その中で風地蔵にお貸し頂けるかをお願い... しています。それぞ... 貸し頂くことを大変嬉しく思います。今年も、全部で10点お貸し頂きました。作者のお子様は剣道

学校なので2人... ぱりです。休む時間... もない。私自身も... 運動会は大好きで... した。先生に色々美術展の作品の写真を... 見せて頂きました。... 本当に絵ですか?... という感じの素晴... らしい作品ばかり... で私が行けない分、... こうやって原先生... がみせて頂けるの... います。(大橋)

の中体連で全国大会に出場され、家族で応援されている様子が目に浮かんでくるストーリー。毎年、すばらしい作品をお貸し下さつている、末次寿子さん。今年、2点の掛け軸で、久留米絨をバックに着物の柄のグラデーショ... ンを上手に生かし、魚を表現されていま... す。風地蔵でも、お客様方に圧巻された作品で、いろいろ作られていく方でも、真似出来ないとも言われませんでした。他には、美人とはいえない人形。小物も上手に使われ、古い久留米絨や、持つて... ましたバックを又、... しゃつたり、どこか... で見てもすごい主人... です。そしてご主人

しては風地蔵の... 人とは思わなかつ... たわ。」とおっしゃ... いましたよ。準備... にごいませう。準備... 後は楽しいこと... 待っている。笑い... 社長さん息子さん... 話になり、長い... います。奥田さんの言う通り、精神論だけで... は続きません。あ... までうすさんの... 珈琲の話、コーヒ... 通を自称している... 私としては楽しい... 話でした。又... ヒー談義をした... ですね。(鎌澤)

さんが入院されてい... る時に、枕辺で早く... 元気になるようにと、祈りながら一針一針刺して作り上げられたタペストリー。絨糸での刺繍だそう... す。私が一番心を打... たれた作品は、田中... 信子さんのタペスト... リーです。この方は、... 事故で右指2本切断... され、もう1本の指... も複雑骨折していて、... いずれは動かなくな... てしまうそうです。... そのハンデイーも感... じられない程、針目... が揃って、とても色... の配色が良く、と... とでも大きいタペス... トリーです。田中... 信子さんのコメントに... 出来上がった時は涙... が出ました。リハビ... テーション。リハビ... テーション。ど... ちらでも書か... らない。ど... ちらでも書か... らない。ど... ちらでも書か... らない。

すね。あんなに... 乗つて(笑)いや... 良く書こうとして... しまつて、つまま... なく、落ちな... のが落ちない... が、昔の話を... せると、風地蔵... 宮部みゆきかと思... わせました。ホ... ントあすねは、... 読んで書き写し... ていますよ。大橋さんがそう思... てくれているのは、... 作者さんにとつ... ものすく力にな... る事です。アンケ... トと一緒に、お渡... ししますね。いつか原先生とお... 姉さんのお出掛け... 日記。本が出版... されそうです。(みほ)

がかつたこと... うか。作りたい... うか。作りたい... は、リハビリのた... だけではない。信... さんが自身の何... いがあつたのでは... いでしようかと、... 品を観るたびに、... ます。本当に、風... 蔵に皆さまの作品... 展示させて頂ける... を嬉しく思います。... 又来年も皆さまの... 名前の作品を拝見... せて頂ける事を願... っています。風地蔵... この展示期間、ご... 来て下さつた方、... たくさんの感想を... いて頂きありが... ございました。来... もきつと、社長が... 貸し頂けるように... お願ひしに行く事... 思います。今年見... 観ていただきたく... す。

私にとつての父

鎌澤 宣子

以前、母の事を書いた事がありましたが、今回は父の事を書いてみます。というの、先日息子と静里の舅の話をしている、「じいちゃん、そか米寿なんやなく。」「そうやね、八十八才に五月でなつたんやね。」「じいちゃん、大病する割には元気やよなり。」という会話の中で、ふつと六十九歳で亡くなった父の事を思い出して、生きていればいくつだろうと、父との話や、子どもの頃の記憶をたどつたのがきっかけです。

十個以上はあつたのではないかと。今思うと、背は小さい方で、横には太い方でしたが、私たち兄弟に少しもおかしいものをおなかいっぱい食べさせてあげたという気持ちで、いっぱいだつたのではと思います。私達兄弟は、「コロッケおおばちゃん」と読んでいて、叔母が来る時、みんなでお出迎えして、ひとしきり話をしていたのを思い出します。父は、とても恐い父で、逆らうと手がとんでくるような昔流行つていた「寺内貫太郎一家」(ちよつと違うかも)しれません。を、地で行くような人でした。私達が生まれるまでは、大酒飲みで、一升瓶を抱えて飲んでいたそうで、仕事の帰りに飲んで、郭町の交差点にある地下道に自転車で落ちて、下でひっくり返つてそのまま寝てしまつたり、アルミのお弁当箱、いわゆるドカベンをなくしてきたりと、物心ついてから、母や兄達からよく聞かされました。が、私にとつてはとて歴史好きで、よく私をひざの上にさせては、大垣の歴史を語つてくれたり、満州での事を話してくる父でした。病気がちでしたので、よく入院をしてい

たのですが、椎間板ヘルニアで入院している時に、お見舞いに来て下さつた方からおまんじゅうを頂いたのですが、普通は子供達に、「食べなさい」というと思うので、でも父は、一個づつ私達に手渡しして、あとは自分で抱えて食べてしまふような子供っぽい所もある人でした。私達兄弟には、厳格な父でしたが、孫にはとても優しい人でした。そんな父をみて、姉がよく「本当に孫には甘いな。私達の子供の頃、仏壇にお参りしている時に、ひざの上のろうとすると、手ではねのけとつたのに、今はよしよしやもんな。」「そういえばおまえだけは、違つとつたな。よく父さんのひざの上にあつたよな。」

目をつぶった瞬間眠りに落ちる。若い時は全然寝られなかった。庭師になってからだ。体も疲れている。もうひとつ、ストレスがないからだろう。

接骨院に行く。電気を当てている間にまず寝る。そして温めの間も。先生の治療の時は起きているが、マッサージ機に移動してまた寝る。先生からも、こんな人、ほとんどいないと言われる。

夜、布団に入って、多分一分以内に眠りに落ちる。そして朝まで起きない。子供が四人。今までどれだけ隣で赤ん坊が泣き叫ぼうが、目が覚めない。

それでも、地震の時だけは、パッと目が覚める。震度1であっても。不思議だ。

庭師 奥田良樹

たのですが、椎間板ヘルニアで入院している時に、お見舞いに来て下さつた方からおまんじゅうを頂いたのですが、普通は子供達に、「食べなさい」というと思うので、でも父は、一個づつ私達に手渡しして、あとは自分で抱えて食べてしまふような子供っぽい所もある人でした。私達兄弟には、厳格な父でしたが、孫にはとても優しい人でした。そんな父をみて、姉がよく「本当に孫には甘いな。私達の子供の頃、仏壇にお参りしている時に、ひざの上のろうとすると、手ではねのけとつたのに、今はよしよしやもんな。」

も呼吸が苦しくて、よく座布団をお腹の下にしてヒューヒューと言っているのですが、私に背中をなせていると、呼吸が楽になつていったのを記憶しています。今エステの仕事で、ボディーのフリンパを流すお手入れがあるので、リンパマッサージが、リンパマッサージだけでなく、東洋医学のツボ押しをする事により、効果が高めるといふのがあるんです。そのツボに、肝愈というのがあり、ぜんそくに効くツボらしいですが、知らずにそのあたりをいつも父が、ヒューヒューとえ

らくなつてくると、そのあたりを下に向かつてさすつていたのを思い出して、それでかと一人納得してました。兄弟の中でも、私が一番父に似ていて、「道路の端と端を歩いていても、親子とわかる位にってるな。」と言われた事もあり、子供の時はいやだなと思う事もありました。こうして思い出してみると、私がかわいがられていたんだなと、父の事が好きだつたんだなと思えます。父のエピソードは、まだまだたくさんありますが、又の機会に。おわり